

千葉県言語聴覚士会ニュース

No. 36 2011年7月31日

目 次

第11回総会の報告 1	臨床こぼれ話 7
会長から 2	ひとくちコラム 9
都道府県士会協議会報告 3	各委員会・作業部会から 9
学術局から 4	匠の技 11
施設紹介 6	お知らせ、事務局から 13
		理事会等報告 14

◇ 第11回総会が開催されました ◇

5月15日(日)に第11回千葉県言語聴覚士会総会が開催されました。会員の皆様のご協力により、議事を円滑に進めることができました。ご協力に感謝いたしますとともに、総会の概要をご報告いたします。

日時：平成23年5月15日(日曜日) 13時00分～14時02分

場所：千葉大学医学部附属病院 第3講堂

議長：宇野園子(流山中央病院)

副議長：勝又綾子(ユー・アイ久楽部)

書記：飯村智子(松戸神経内科)、五十嵐智美(千葉・柏リハビリテーション病院)

会員数及び出席者数：会員数322名

出席者180名(当日参加36名、議長委任144名)

I. 報告事項

1. 平成22年度活動報告
2. 平成22年度決算報告
3. 平成22年度監査報告
4. 細則と分掌規定の変更報告

II. 協議事項

1. 第1号議案 平成22年度活動報告の承認に関する件
2. 第2号議案 平成22年度決算報告に関する件
3. 第3号議案 平成22年度監査報告に関する件
4. 第4号議案 新役員の承認に関する件
5. 第5号議案 平成23年度活動計画案に関する件
6. 第6号議案 平成23年度予算案に関する件

以上の件が提出され、賛成多数により承認されました。

(総務部 宮下恵子)

◇ 会長から ◇

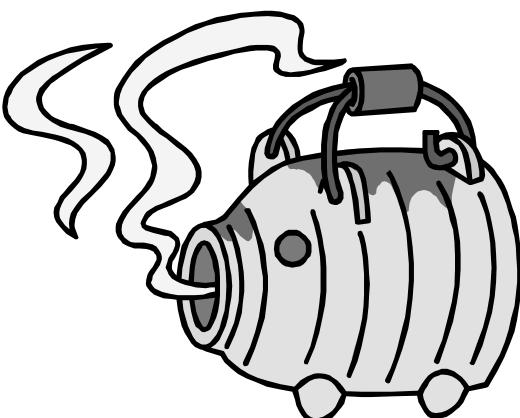
～ 今期に臨むこと ～

会長 吉田浩滋

第11回の総会で信任され、今後2年間、県士会の舵取りを行うことになりました。どうぞ、宜しくお願ひいたします。

3月11日の東日本大震災以降、私たちは自然と価値観を変えてきているように思います。その典型例は原子力発電です。また、障害者自立支援法の制定、改正の過程で、当事者たちが「私たちのことを、私たちのいない場所で決めないで」と訴えていたことも思い出しました。東北の復旧・復興は東北の人々の意見や希望が反映されなければいけません。しかし、現状では復旧さえ十分ではありません。先日、石巻から女川まで支援物資を運ぶ手伝いをしてきましたが、道の脇に並ぶ仮埋葬地の花の列には絶句しました。こんな状況を残したまま、復興などできるわけもありません。現地を見れば、「復興」などより、まだ「復旧」が中心課題であると言うことは、おのずとわかるはずです。しかし、「復興」と称し、学者達が意見を述べ合う。これはどうもおかしな光景です。なぜ、当事者に寄り添おうとしないのか?こんなことに思いを馳せる中、ふと我に立ち返って見れば、言語聴覚士においても、接する方々に寄り添うことが十分に出来ているのか?あるいは、今回のような災害時において、医療職として被災者を救えるだけの実力をもっているのか?そんな悩みも尽きません。

先日、日本言語聴覚士協会の拡大春季都道府県協議会に県士会の代表として参加して参りました。その中で、大分県士会が一般社団法人となり、島根県と鳥取県の県士会が合同で一般社団法人・山陰言語聴覚士会を作ったことを知りました。日々、状況は変わっていきます。私たちは今、第二の戦後を迎えているのでしょうか。考え方や価値観等が、これから先、どんどん変化していくことでしょう。私は、そんな変化に対応できる県士会を築いて行きたいと考えております。今こそ、時代を拓くリーダーが必要なときと思います。このような思いを持ち、会長を務めていくつもりです。皆様のご支援を宜しくお願ひいたします。



■□■平成23年度拡大春季都道府県協議会

が開催される■□■

会長 吉田浩滋

6月17、18日に福島県で開催予定であった第12回日本言語聴覚学会と第3回総会は、東日本大震災の影響で中止となりましたが、一週間遅れの26日に拡大春季都道府県協議会は東京商工会議所（千代田区）で開催されました。今回は今まで県士会のなかった神奈川県と宮城県からも県士会設立準備委員が出席し、47全ての都道府県に県士会が存在する日が近いことを実感させてくれました。

冒頭、今回の震災によって亡くなられた方々のご冥福を祈り、黙祷が捧げられました。その後、深浦会長から、震災に伴う避難所生活などで発生しやすい、「生活不活発病（廃用症候群）」を予防することを目的に、言語聴覚士、理学療法士、作業療法士等がチームを編成し、仙台の避難所に派遣したことが報告されました。この中では、三泊四日程度で被災地に入り支援する場合と一週間単位で支援する場合の例が挙げられ、混乱の多い被災地においては、支援が自己完結しやすい一週間単位の支援の方が、引き継ぎ業務が煩雑にならず円滑に進められる事が述べられました。

その後、今回の被災地を代表して、岩手、宮城、福島、栃木、茨城、千葉の代表者から病院、老健等の施設や、利用者、言語聴覚士の被災状況等の報告がありました。その中で福島県では、採用が決まっていた言語聴覚士からの採用辞退が数件でていることや、宮城県からは、採用日を遅らせているところが出ていること、医療機関等の閉鎖による影響について報告が行なわれました。

千葉県については、被災者に当県士会所属の言語聴覚士がいなかった事、また他の被災地から千葉県に避難してきている言語聴覚士はいなかった事について報告致しました。また、先の深浦会長の報告を受け、千葉県の場合、医療職、福祉職等の被災地派遣は7日や1週間を単位としたため、この日数的な縛りを理由に、派遣に応えることができないと考える者が多かったことを報告しました。更に災害時においては、言語聴覚士である以前に一人の医療人として、その場でできることは何か、必要となることを習熟する必要があるのではないかといったことが理事会の話題となつたことを報告しました。

今回は時間の関係上、各県士会からの近況報告はなく、最後に深浦会長より、①被災地への支援活動として、被災した県士会については協会から補助金（上限50万円）が支払えるよう検討していること、また、②今回のような大規模災害発生時においては、医療人としての行動が求められるとした上で、多種多様な状況に適切に対応できる医療技術者、関連職種の専門家の育成を目的とする「平成23年度災害医療研修（国際医療技術財団主催）」に参加希望する者を各県士会から募集する予定であること、が報告され終了となりました。

◇ 学術局から ◇

学術局 木下亜紀、木村知希

1. 平成23年度第2回研修会のお知らせ

例年、第2回研修会は委員会活動を発表する場として定着しつつあります。今年度も当会聴覚障害委員会より補聴器に関する講演をいたします。また、吃音の臨床・研究家としてご高名な長澤先生をお招きし、吃音に関する最新情報を織り交ぜたご講演をしていただきます。会員の皆様はもちろん、会員外の方へもお誘いあわせの上、ご参加ください。

*日時：平成23年9月11日（日） 13時00分～16時30分

*会場：東京女子医科大学八千代医療センター外来棟4階 大会議室

*内容

講演① 13:00～14:30

「聴覚障害を知る 補聴器編」

～機種と機能、装用指導、そして最近の補聴器事情について～

講師 当会聴覚障害委員会

講演② 14:45～16:30

「吃音セラピーの現状と課題」

講師 こどもの発達療育研究所 顧問 長澤 泰子 先生

*申し込み方法：詳しくは同封の申込書をご覧ください。

2. 第1回研修会報告

平成23年5月15日（日）に千葉大学医学部附属病院で第1回研修会を開催しました。君津中央病院の村西幸代先生をお招きし、「最重度失語症者」における評価の考え方やそれに基づいた言語訓練プログラムについてご講演していただきました。また、最後に当会初代会長のお立場から当会が立ち上がった経緯と職能活動についてお話をさせて頂きました。参加者は98名（会員：73名、会員外：25名）でした。研修会の概要と、アンケート結果の一部を紹介します。

研修会の概要

演題名：「最重度失語症者の臨床を掘り下げる～出来ることから考える言語訓練～」

講師：君津中央病院 言語聴覚士 村西 幸代 先生

今回の研修会では、「失語症」をテーマに、教科書では評価できないような最重度の失語症者について、実際の臨床のお話を中心にご講演いただきました。重度失語症者を、①「やりとり」も成立しない精神活動の低下を伴う最重度失語症者、②課題理解がまったく得られない最重度失語症者、③言語によるコミュニケーションが取れない重度失語症者、④「Y e s - N o 応答」以外の表出がほとんどできない失語症者の4つに分類し、それぞれの具体的な評価のポイント、訓練での留意点や具体的な訓練ポイントを、実際に動画や音声を含めた症例提示を行いながらご講演いただきました。

質疑応答では、失語症者のリハビリ拒否に関することや新人教育について、また診療報酬以外での仕事（報告書の作成など）について多くの参加者と意見交換がされました。

病院や施設など、言語聴覚士に「稼ぐ」ことが求められている現在、しっかりと時間と手間をかけた臨床をすることの重要性を改めて考えるきっかけとなりました。またご講演の最後に、当会初代会長として当会の設立や日本言語聴覚士協会との連携についてもお話しいただき、職能組織の存在意義についても学ぶことの出来るご講演でした。

アンケート結果

①研修会に参加して（回収：67名）

とても良かった 65名、普通 2名、期待していた内容と異なった 0名

（具体的な内容）

- ・現在、最重度の失語症の方を担当しており、訓練方法に迷っていたところだったので、非常に参考になりました。もう一度、評価を見直して訓練に生かしたいと思います。
- ・最重度失語症者との関わり方、介入の仕方、目標がわかりました。実際の訓練の紹介もあり、わかりやすかったです。

②当会の活動へのご意見、研修会会場のご希望をお書きください。

- ・近隣のＳＴとの連携が取りにくい。患者の訓練は施設内で完結し、患者の以前、以後の状態には無関心というＳＴが多い。ネットワーク作りに力を入れてほしい。

希望開催地：東葛北部（柏・流山など）21名、東葛南部（浦安・市川など）17名

印旛（成田・佐倉など）6名、香取海匝（旭・銚子など）0名

千葉など（千葉・市原など）41名、君津（木更津・君津など）3名

山武長生夷隅（東金・茂原など）1名、安房（勝浦・館山など）2名

希望移動手段：電車・バスで行ける 47名、自家用車（駐車場有）で行ける 27名

（複数回答、未回答あり）

学術局より<研修会を終えて>

今回のアンケートで研修会開催地のご希望をお伺いしましたところ、上記のようなご意見をいただきました。いただいたご要望は今後の研修会運営に生かしてまいります。ご参加いただきました皆様、ありがとうございました。皆様の臨床の一助になれますよう願っております。

[研修会の症例発表者募集]

今年度の研修会での症例発表者を募集します。日頃の臨床で悩んでいる症例などありましたら、ぜひご検討ください。皆様の積極的な提案をお待ちしています。当会ホームページにお問い合わせください。

3. 「地域の勉強会」での症例検討会に参加しませんか？

会員の皆様のご協力により、各地域で勉強会が開催されています。ホームページの「小児多職種合同勉強会」、「地域勉強会」をご参照の上ご参加ください。

施設紹介

東京女子医科大学 八千代医療センター リハビリテーション室・・・ST 相楽 涼子

当院は、八千代市における急性期医療を担う総合的な病院として2006年12月に開院しました。病床数355床、全32科の診療部があり、救急医療、小児医療、総合周産期母子医療センターでは24時間365日体制で外来診療を行っています。また、この数年の医療改革の一環として地域を一つの病院としてとらえる『地域連携型医療』の急性期部分を担っています。このため、クリニカルパスの共有など近隣の回復期病院との連携も密に行ってています。

当院のリハビリスタッフはPT9名、OT3名、ST1名です。失語症をふくむ高次脳機能障害、構音障害、嚥下障害等、脳血管疾患による後遺症を対象とすることが多いのですが、消化器外科や腎臓内科など様々な診療科からの嚥下評価の依頼を受けており、術後絶食期間の長い方や高齢者の方など、嚥下障害が疑われる際は積極的にSTが介入し誤嚥性肺炎の予防に努めています。また、NSTや病棟での勉強会にも参加しています。嚥下障害や高次脳機能障害についての講義を求められることもあり、患者さんに関わるスタッフの知識・情報が共有できるよう努めています。リハビリ室内では、勉強会や患者さんに協力いただいたりのケース検討をそれぞれ月1回行っており、各スタッフとも活発にディスカッションしています。急性期に特化した病院のため入院期間は短期間ですが、限られた期間の中で患者さんに満足していただけるようスタッフ一同日々努力をしています。

〒276-8524 八千代市大和田新田477-96 TEL: 047-450-6000 (代表)

東京歯科大学市川総合病院 ・・・・・・・・・・・・・ ST 中村 智代子

当院は、昭和21年に東京歯科大学の付属医療機関として開院し、現在では診療科20科と6つの専門センターを有する570床の市川市の中心医療機関です。また、地域がん診療連携拠点病院、災害拠点病院としての役割も果たしています。

STの在籍するリハビリテーション科は、医師2名、PT7名、OT4名、ST3名、看護師1名、看護助手1名の18名で急性期に対応したリハビリを提供しています。当科は大学病院の特徴も持ち、臨床のほか、研究・教育にも取り組み、スタッフ各自が学会への参加や発表、実習生の受け入れなども積極的に行っています。

STは多くの診療科からの依頼のもと、摂食嚥下障害、構音障害、失語症、高次脳機能障害を中心に診療にあたっています。また、NST、摂食嚥下チーム、食道癌チーム、口腔癌チームの一員としても業務を行っています。特に、当院は歯科医師が摂食嚥下を担当しており、STは歯科医師との連携が密で、歯科医師とともに評価・訓練を実施しています。当院は急性期病院であるため、近隣のリハビリ病院、療養型病院、施設へ転院される患者様が大半を占めますが、ST部門は外来でのリハビリにも対応しています。その他、ほとんど全ての診療科とのカンファレンス(毎週)、院内・院外勉強会への参加、リハビリ科内の勉強会・カンファレンス(月2回)も行っています。

今後も地域医療に貢献できるリハビリを目指してスタッフ一同努力していきたいと思います。

〒272-8513 市川市菅野5-11-13 TEL: 047-322-0151



==== 新前 ST 時代－思い出すままに ===

八千代市ことばと発達の相談室
那須 道子

かつて1年間だった言語聴覚士(ST、当時は「言語治療士」という呼び名が一般的)の養成課程を終え、右も左もわからずに現在の職場に就職。そこから本格的なST修行が始まりました。

初めは毎月の給与を得ることも申し訳ないような状態だったと思います。一番迷惑を被ったのは、来室してくれた子供たちかもしれません。教材の準備に手間取り、戸惑いながら右往左往している私に「よくつきあってくれていたなあ」と改めて感謝しています。幸いなことに優秀な諸先輩方にも囲まれ、仕事の基礎を教えていただきながら、なんとか今までSTを続けることができました。

私が仕事を始めた当時、小児の分野では言語発達の評価・指導の具体的な方法が大きなテーマになっていました。言語発達遅滞検査法(現在のS-S法)の構築が進められていた時期でもあり、臨床上の妥当性と言語発達の普遍性をとらえた検査法をつくりだそうという諸先輩の熱意を感じつつ、私も未熟ながら、その活動に触れることができました。特に印象的だったのは、各STが試行錯誤して積み上げてきたそれぞれの臨床体験をオープンにして、教材や指導方法を共有しながら新しいものをつくろうとしていたことでした。検査道具を揃えるため、おもちゃの太鼓を求めて浅草橋の問屋巡りをしたことも楽しい思い出です。

近隣の市職員のSTたちが持ち回りで開いていたケース検討会議にも参加させていただきました。当時はそれぞれの職場のSTもまだ少ない時期で、情報交換の場が求められていたということもあったのでしょう。

会議では、実際にケースを招いて指導場面を見せ合うということもありました。現在ほど個人情報への配慮を求められることもなく、保護者の了解も得やすかったのです。未熟なSTの仕事ぶりは子供たちにもわかるようで、その場で「いや！」とストライキを起こされることもありました。

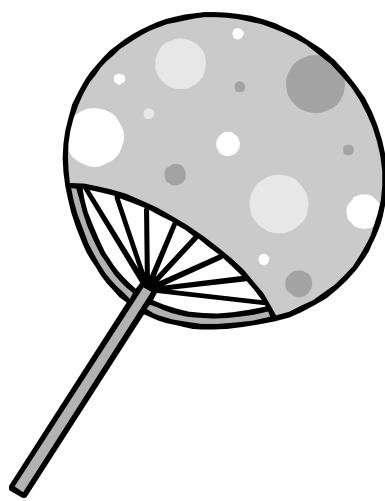
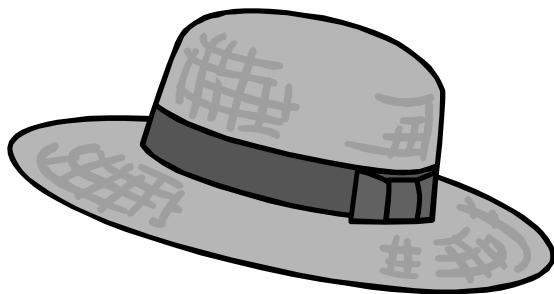
ケース報告の担当になるとかなり緊張して会議に臨むことになります。ただ、具体的なアドバイスなどをいただき、また報告書をまとめることが日々の臨床を見直す機会になり、新人にとっては格好の修行の場になっていました。

反省すべき点を多々ご指摘いただく一方で、「積み重ねて粘り強くやることで、道も拓ける」といった温かい言葉もかけていただき、ずいぶん励されました。当時は、その場を切り抜けることだけで精一杯でしたが、会議で出された教材や指導方法がS-S法の訓練法にも活かされていることを考えれば、つくづく貴重な経験をしていたと感じます。

いくつかの読書会にも参加していました。英語の本を取り上げることもあり、内容を理解することはむずかしく、咀嚼できないまま終わってしまったこともあります。それでも、会場を提供してくださ

ったメンバーのお宅で夕飯を食べ、リラックスした雰囲気の中で仕事上の悩みをお互いに出し合い、ベテランでも共通したことで悩むことがあるのだと、緊張する中でほっとすることもありました。

私の指導を終えた子供と久しぶりに会う機会があると、その成長ぶりに圧倒されることが少なくありません。地域でネットワークを広げている保護者の姿に「共に生きることの大切さ」を教えられることもあります。お互いの個性や違いを認めながら共存することはむずかしいと思う一方、東日本震災の経験から、今までにも増してコミュニケーションの重要性が高まっていると感じています。これからも柔軟な姿勢で、自分のコミュニケーション能力に磨きをかけていきたいと考えています。



☰☰☰ きこえに関するひとくちコラム ☰☰☰

・・・聴覚障害委員会・・・

患者様や利用者様の中に「この補聴器5年前に買ったものだけど、最近きこえなくなってきた」とおっしゃる方はいませんか？聴力の低下や補聴器の故障などが考えられます。普段からの聴力管理やメンテナンスが重要です。

補聴器をより適切に使用するためには

聴力管理 補聴器は聴力に合わせた調整をして装用します。聴力が変動していれば補聴器の再調整も必要ですし、耳鼻科医の診察や治療をする場合もあります。定期的に聴力検査や耳鼻科診察を受けるよう勧めましょう。

販売店によるメンテナンス 電池を変えて音が出ない場合や、補聴器に不調があった場合、認定補聴器技能者のいる販売店で見てもらうよう勧めましょう。音が出ていても内部に錆びや故障があることもあります。不調がなくても年に1・2回はメンテナンスに行くことが望ましいでしょう。



◇ 各委員会・作業部会から ◇

◎○◎リハビリテーション公開講座作業部会◎○◎

第5回 リハビリテーション公開講座のお知らせ

(一社)千葉県理学療法士会、(一社)千葉県作業療法士会、千葉県言語聴覚士会、千葉県リハ医学懇話会主催で「第5回リハビリテーション公開講座」を開催いたします。

今回は、昨年好評だった「疾患や障害の予防」をテーマに、内容を一新して催します。県民の皆様の心身の健康維持に役立つ情報を紹介しますとともに、各専門職の方にとっても大いに参考になる内容です。講演の他、各専門職による個別相談会、各県士会紹介コーナー、リハビリテーション機器等の展示を設けます。また、日常生活で気軽にできる、具体的な予防の為の体操等の紹介も行います。参加費は無料です。お誘い合わせの上、ぜひご参加ください。

日時 平成23年10月15日（土） 12：00～16：30（講演は13時から）

会場 千葉市美浜文化ホール（JR京葉線 檜見川浜駅 徒歩8分）

内容

●基調講演

『加齢による機能低下と疾患の予防』

リハ医学懇話会 千葉大学医学部付属病院 リハビリテーション部 助教 浅野由美氏

●講演

「肩・腰の痛みの予防」

千葉県理学療法士会 東京女子医科大学八千代医療センター 薄直宏氏

「うつの予防」

千葉県作業療法士会 総武病院 福田均氏

「嚥下・口腔機能の低下を防ぐために」

千葉県言語聴覚士会 東京女子医科大学八千代医療センター 相楽涼子氏

(神作暁美、本間菜摘)

◎○◎生涯学習プログラム基礎講座・専門講座作業部会◎○◎

今年度も日本言語聴覚士協会、生涯学習プログラム基礎講座・専門講座の千葉県版を実施いたします。昨年度同様に、専門講座を2講座、基礎講座全ての6講座と独自の講座を合わせて9講座を2日間で実施いたします。

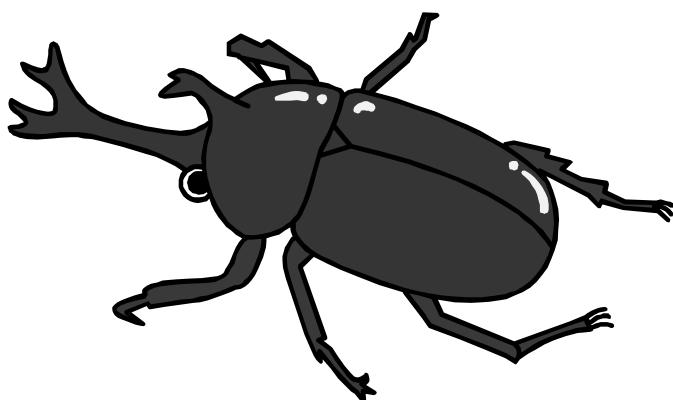
専門講座は社団法人精神発達障害指導教育協会の小倉尚子先生による「広汎性発達障害：社会性を促す指導」と大阪河崎リハビリテーション大学の矢守麻奈先生の「摂食・嚥下訓練の実際」を午前と午後に分けています。ポイント申請をなさらない方でも歓迎です。

日 時 : 平成23年11月20日(日曜) ・ 11月27日(日曜)

会 場 : 千葉市民会館

詳しくは同封の案内状をご覧下さい。多くの皆様の参加をお待ちしています。

(斎藤公人)



▼△▼△▼ お知らせ ▼△▼△▼

第12回千葉県医師会医学会学術大会

千葉県耳鼻咽喉科医会講演会

テーマ：人工内耳について

謹啓 時下、ますます御清栄のこととお慶び申し上げます。

さて、この度「千葉県耳鼻咽喉科医会講演会」を下記の要領にて開催いたします。

耳鼻咽喉科医だけでなく、他科の医師やコメディカルの方の参加を歓迎いたします。

奮ってご参加をいただけますようご案内申し上げます。

謹白

日時：平成23年10月16日（日）午前9：50～12：00

場所：ホテルポートプラザちば2階「ロイヤル」千葉市中央区千葉港8-5

JR京葉線/千葉都市モノレール「千葉みなと駅」前 tel: 043-247-2811

9:50～10:00 情報提供

10:00～12:00 講演会

司会 永田博史先生（山王病院耳鼻咽喉科）

講演1. 10:00～10:30 「人工内耳、その適応と限界」

鈴木光也先生（東邦大学医療センター佐倉病院耳鼻咽喉科
難聴・めまい回復センター 教授）

講演2. 10:30～11:00 「人工内耳手術後の（リ）ハビリテーション」

城間将江先生（国際医療福祉大学保健医療学部言語聴覚学科 教授）

特別講演 11:00～12:00 「人工内耳と脳幹インプラント

— 内耳疾患と聴神経疾患における聴覚の再獲得 —
加我君孝先生（東京医療センター臨床研究（感覚器）センター
名誉センター長、東京大学名誉教授）

*参加費：無料です

*講演会の後、県医師会医学会のランチョンセミナー、シンポジウム、市民講座、
特別講演などの企画がございます。

主催：千葉県耳鼻咽喉科医会

共催：千葉県医師会 日耳鼻千葉県地方部会

千葉市耳鼻咽喉科医会 興和創薬株式会社

問合せ先：千葉県耳鼻咽喉科医会 〒260-8670 千葉市中央区亥鼻1-8-1

千葉大学大学院医学研究院耳鼻咽喉科・頭頸部腫瘍学内

Tel: 043-226-2137 Fax: 043-227-3442

◇ 事務局から ◇

会員・会友の方へお知らせ

年会費自動引落制度をご利用下さい

財務部より



年会費自動引落サービスをご利用いただきますと、毎年の年会費お振込の手間がなくなり、また、未納や二重納入などの心配もなくなります。お手続きは1回だけです。会員・会友の皆様には、是非この機会に年会費自動引落のお手続きをいただきますよう、お願い申し上げます。なお、年1回のお引き落としにかかる手数料は25円です。

引落は毎年3月15日となります。未納分がある方につきましては、その時点での未納分も含めて引き落とさせていただきます。年度途中に退会なさった方につきましては、次年度の年会費は引き落としされませんのでご安心下さい。

1. 入会のお誘い

当会に入会されていない方は、ぜひご入会くださるようお願い申し上げます。入会ご希望の方は、ホームページにても入会方法をご案内申し上げておりますのでご覧ください。また、お近くに未入会の言語聴覚士の方がいらしたら、入会をお勧めくださいようお願い申し上げます。

2. 住所・勤務先変更届けについてのお願い

住所や勤務先など、入会時にされた登録内容に変更があるときは、お手数ですがなるべく速やかに、事務局まで郵便またはFAXにてご報告くださいますようお願いいたします。変更届は会のホームページよりダウンロードすることもできます。会よりの郵便物がお手元に届くのが遅れるなど不都合がございますので、ご協力お願いいたします。

3. リーフレットの配布

千葉県言語聴覚士会のリーフレットを所属施設に置きたい、研修会などで配布したい等のご希望がありましたら、必要部数と連絡先を明記し、事務局までお申し込みください。追ってご連絡いたします。また県士会ホームページにも掲載されていますので、ご覧ください。

4. 新入会員のお知らせ (敬称略) 会員数: 正会員 319名・会友 24名・賛助会員: 6団体

(平成23年6月19日 理事会承認分まで)

・・・正会員・・・

鳥居 真希(大野中央病院)

富田 喜代美(東京歯科大学市川総合病院)

松永 枝李子(塩田病院付属福島孝徳記念病院)

伊与田 沙紀(千葉柏リハビリテーション病院)

山本 理紗(船橋市立リハビリテーション病院)

門井 美奈子(船橋市立リハビリテーション病院)

5. 変更のお知らせ

・・・正会員から会友へ・・・

渡辺 好香(地域療育センターあおば)

高木 美沙(東京都リハビリテーション病院)

◇ 理事会・委員会等報告 ◇

◆ 平成23年度 理事会

《第3回》

日時：2011年5月15日（日）10時50分～12時00分 場所：千葉大学付属病院 第3講堂

出席者：吉田、鈴木、石橋、小嶋、宮下、斎藤、相楽、平澤、木村、古川、木下（以上理事11名）

竹中、岩本（以上幹事2名）、荒木（書記）

1. 協議事項：（1）事務局より ・理事会の議事録承認について ・新入会員・退会者について ・理事、局員、委員一覧について ・平成23年度第2回研修会について ・松戸市の言語聴覚士の在籍数について ・総会の質疑対策について ・会長、副会長について

2. 報告事項：・郵便物回覧

《第4回》

日時：2011年6月19日（日）13時00分～15時50分 場所：千葉市黒砂公民館 1階和室

出席者：吉田、木下、相楽、古川、石橋、木村、鈴木（以上理事7名）、竹中（監事）、荒木（書記）

1. 協議事項：（1）事務局より ・理事会、局等の議事録の承認 ・新入会員・退会者承認について ・介護保険委員会より会の進行状況の報告 ・日本言語聴覚士会総会に併せて開催される協議会について ・東日本大震災について ・千葉県言語聴覚士会局・部・委員会名簿について ・ニュースNo.36について ・日本言語聴覚士協会の研修会推薦について ・県士会の今後の方針について ・理事会会場の予約方法

2. 報告事項：・郵便物回覧

◆ 平成23年度 学術局

《第1回》

日時：2011年5月15日（日）17時30分～18時30分 場所：千葉大学医学部附属病院3階第3講堂 出席者：

平澤、木下、神作、藤田、酒井、田中、深田、建石、中村、三井、木村（以上11名）

・平成23年度第1回研修会反省 ・平成23年度第2回研修会案内状承認

◆ 平成23年度 高次脳機能障害委員会

《第1回》

日時：2011年6月12日（日）13時00分～15時00分 場所：八千代市緑が丘公民館

出席者：石橋、竜崎、鈴木、大内、平井（以上5名）

・参加者紹介 ・H23年度役割分担 ・メーリングリストの作成 ・H23年度の活動計画

◆ 平成23年度 聴覚障害委員会

《第1回》

日時：2011年6月19日（日）10時00分～12時00分 場所：プラザ菜の花 サークル室 palA室 出席者：常田、佐藤、黒谷、高橋（以上4名）

- ・今年度の役割分担
- ・コラムについて
- ・研修会の内容について
- ・研修会講演者について

◆ **平成23年度 組織検討委員会**

《第1回》

日時：2011年5月29日（日）9時30分～11時00分 場所：ロイヤルホスト津田沼店

出席者：吉田、平山、大内、松井（以上4名）

- ・千葉県言語聴覚士会の法人化の流れについて
- ・本会ニュースに掲載する「一般法人Q&A」について

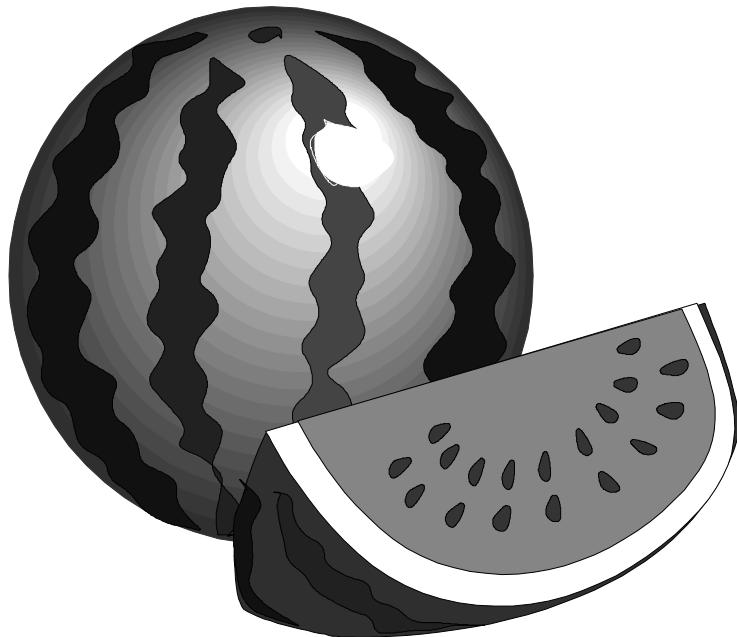
◆ **平成23年度 生涯学習プログラム基礎講座・専門講座作業部会**

《第1回》

日時：2011年6月5日（日）10時00分～12時00分 場所：黒砂公民館 工芸室 出席者：斎藤、西本、宇治、太良木、古川（以上5名）

- ・平成23年度講座開講進行状況
- ・作業部会の役割分担
- ・申し込み案内について

（紙面の都合上、報告事項と協議事項はまとめて記載しています。）



多機能言語訓練装置

ActVoice® アクトボイス

ActCard® 対応 ActV001 税込39,900円

失語症等言語障害者への言語訓練を目的とした

多機能言語訓練装置 ActVoice® です。

言語聴覚士による絵カードを使用した言語訓練を補助したり、
失語症者自身による自宅での言語訓練を補助します。

●(独法)新エネルギー・産業技術総合開発機構:21年度福祉用具実用化開発助成事業

●千葉県:ちば・戦略的デザイン活用塾21年度コンサルティング・プログラム事業

●経済産業省:22年度中小企業等の研究開発力向上及び実用化推進のための支援事業

開発協力 村西幸代 古川大輔 国保直営総合病院 君津中央病院 言語聴覚士

黒岩真吾 千葉大学 大学院 融合科学研究科 情報科学専攻 教授

協力 特定非営利活動法人 全国失語症友の会連合会

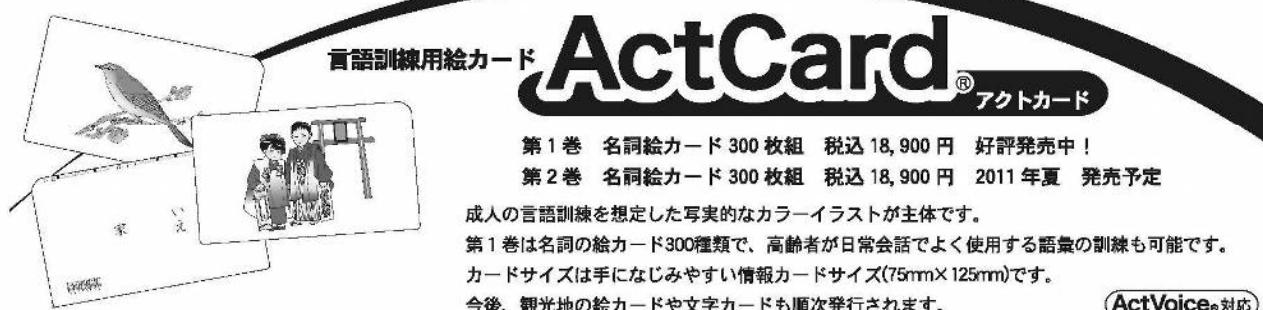


カードをセットすると、裏面のバーコードを読み取り、各種ヒントや答えの音声が再生されます。発声を簡単な操作で録音・再生が可能です。日時や操作履歴・録音などの記録をSDカードに保存でき、パソコンでのデータ処理が可能です。本機を使用した長期的な訓練経過などについて、評価・研究が可能となります。家族の写真を貼り付けたりイラストを描いたりして、別売のブランクカードを使用して、簡単な操作でカードを作成できます。訓練意欲向上のため「青い山脈」や「ふるさと」等、懐メロや唱歌カードも発売予定です。これまでに発売してきた「絵カード2001*」も本器で使用可能です。

*一部は別売のバーコードシールを貼り付ける必要があります。

2011年夏 発売予定

今後予告なく変更になることがあります。
貸出用のデモ機を用意しています。(発売後貸出可)



リオネット補聴器

補聴器のご相談は安心できる

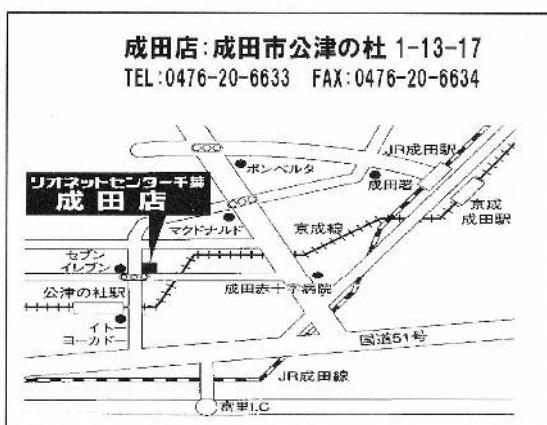
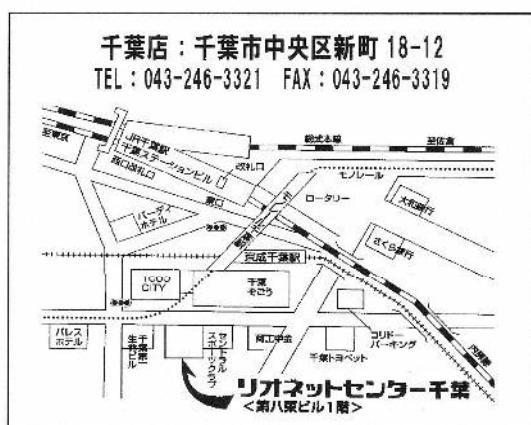
認定補聴器専門店で!

認定補聴器専門店は「認定補聴器技能者」が在籍し、補聴器をお客様の耳に合わせるための設備機器が整い「補聴器の適正供給」の運用がされ、「財団法人テクノエイド協会」が認定したお店です。つまり経験豊かで専門的な知識と技能を持ったスタッフが、様々な機器を使い、一人ひとりのお客様の聞こえの状態に合った最適な補聴器をご提供します。



千葉店：千葉市中央区新町 18-12
TEL : 043-246-3321 FAX : 043-246-3319

成田店：成田市公津の杜 1-13-17
TEL:0476-20-6633 FAX:0476-20-6634



Hello

在宅
通信販売

かむことや飲み込むことが、困難な方や
たんぱく質などを制限されている方へ
ご一報ください。

(株)富士食品 千葉県君津市坂田272

TEL:0439-52-2421

FAX:0439-53-0758

マウスピュア® シリーズ 口の機能を取り戻すために

唾液分泌
促進

清掃

保湿

口腔
マッサージ

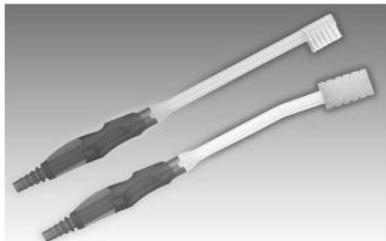
マウスピュア®

有効成分(グリチルリチン酸ニカリウム)配合
潤滑剤(ヒアルロン酸Na)(濃グリセリン)配合

40g 希望小売価格 1,470円



マウスピュア® シリーズ口腔ケア製品ラインナップ



吸引+歯みがき / 吸引+口腔清掃
「吸引歯ブラシ」「吸引スponジ」



口腔清掃
「口腔ケアスponジ」



アイスマッサージ
「口腔ケア綿棒」



舌リハビリ
「口腔ケアガーゼ」



舌清掃
「フレッシュメイト KJ」

※ 製品改良のため、仕様の一部を予告なく変更することがあります。あらかじめご了承ください。

川本産業株式会社

本社 / 大阪市中央区糸屋町2丁目4番1号
●お客様相談窓口 06-6943-8956 (10:00~17:00 月~金ただし祝祭日を除く)
●商品に関するお問い合わせ・試供品のご要望は
マーケティング本部 06-6943-8941

<http://www.kawamoto-sangyo.co.jp>



水に混ぜるだけ! ゼリーが手軽に作れます。

水分補給に Quick Jelly

クイックゼリー

包装単位: 10g×36



アップル味

ピーチ味

ビタミン補給に Quick Jelly Vit

クイックゼリーVit

包装単位: 5g×36



レモン味



「ひとつくちめ」から
幅広く
サポートします。

水に溶かして30秒間混ぜるだけ。

3~5分後にはさわやかなゼリーができ上がります。

水さえあれば、いつでもすぐに、食感のよいゼリーが召し上がれます。

はやい

かんたん

加熱や冷却が不要。

外出先でもベッドサイドでも手軽に作れます。



加熱調理や冷却のための時間がかかりず、作り置きスペースも省けます。

食べやすい

均質で飲み込みやすいテクスチャー。

離水がなく、温度による変化もほとんどありません。

テクスチャー: 硬さ・付着性・凝集性など
口腔内で知覚される
食品の物理的性質

新発売

カプサイシン入りフィルム状食品

マンゴー味

カプサイシンプラス[®]

カプサイシンの力で食事を楽しく!



特長

- カプサイシンは、トウガラシ(唐辛子)の成分です。
- 2枚で1.5μg(0.75μg/枚)のカプサイシンが摂取できます。
- 舌の上ですばやく溶けます。

使用方法

目安として2枚程度を口の中(舌の上)に入れ、
全部溶けたらお食事をお楽しみください。



包装: 24 枚 × 10



販 売 者

株式会社 三和化学研究所

本社/名古屋市東区東外堀町35番地 〒461-8631

TEL(052)951-8130 FAX(052)950-1861

●ホームページ <http://www.skk-net.com/>

編集部員のつぶやき

先日、一日の消費カロリーや活動量が計測できる小型装着計器を購入しました。「これで何が変わらぬかな～？」と、ちょっと疑心暗鬼だったのですが、身に付けた途端、無駄にスーパーを歩き回ったり、わざと用事を作って遠い事務室まで歩いたり、旅に出ていたWiiフィットを呼び戻したり。。。。「これでナイスバディ～になれるかしら？」と、楽しい真夏の夜の夢を見ています♪

発行所:千葉県言語聴覚士会

発行人:吉田浩滋

編集人:編集部 古川大輔

事務局:〒263-0023 千葉市稻毛区緑町2-1-9 103号室

FAX 043-243-2524

E-mail chibakenshikai@zp.moo.jp

ホームページ:<http://chibakenshikai.moo.jp/> 会員専用パスワード:affordance

印刷:社会福祉法人 大成会 成田市のぞみの園